

新春早々、今年一年の勇気を与えてくれたメール

年賀と共に、HPを通して知り合い交流している学生から次のようなメール（抜粋）が届いた。

【 昨年末から取り組んでいた卒業論文の方が何とか完成しました。

先生の「卒業論文という課題が大学にある意味は…（注：「雑学B N」の講義等関係（Ⅱ）P、2006.03.01.：参照）」を何度も！読返し、指導教官にアドバイスを貰いながら仕上げる事が出来ました。

論文を書くに当たって調査を何度か行ったのですが、その過程で"人との係わり合い"の大切さ、素晴らしさを再度実感した次第であります。

見ず知らずの若者なのに自宅に泊めて下さったり、調査に協力して戴いたりとお世話になったからです。

卒論自体は色々大変だったのですが、人との出会いや交流があったことでそれがやる気に繋がり乗り切れたのだと思います。

卒業研究は突き詰めてゆくと際限ないので、ある程度の妥協も必要なのでしょうが、自分自身の調査等でどこまで事の本質に迫ることが出来たのかは、疑問が残る所であります。

とはいえ、卒業論文という課題を通して机上では学べない様々な事を学べたということは、自分の人生にとって大きな意味を持つてくるのだと思います。

大学院の試験も無事合格しました。

今年はより研究に傾斜した勉強が必要になってくるかとは思っています。

卒論研究テーマを絞り込む段階で随分悩みました。恐らく、修士論文でも紆余曲折を経ながらのテーマ設定になるのかと思われます。

そのため、壁を作らず、様々なことに興味を示してゆく姿勢で日々の生活を送りたいと思っています。

今年もHP上でのコメントを楽しみにしています！

ヒントをもとに自分なりに考えた結果、考えがさらに深まれば嬉しいです。】

他の学生からの問いかけへの返信も厚かましく発信しているが、こうして参考にさせていただけると、嬉しい！（^o^）

また、自分の障害児教育や福祉分野とは対極に位置するような専門分野の学生からだけに、「"人との係わり合い"の大切さ、素晴らしさ」をHPから読み取り、かつ、実感してくれていることを知ると、なおのこと嬉しい！（^_^）

「基本的事柄を次世代と共に考え、また、次世代へメッセージを発信できれば」と願うHP開設の趣旨が活きているかなと思うと、これまた嬉しい！（*_^*）

新春早々、今年一年の勇気を与えてくれた学生からのメールであった。

（2007年1月8日記）